

会 議 録

1 会議名

令和5年度 第8回頸城区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

- 頸城区地域活性化の方向性の検証について
- 地域協議会活動報告会について

3 開催日時

令和5年11月22日（水）午後6時30分から午後8時40分まで

4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

5 傍聴人の数

0名

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：上村閨一（会長）、笠原昇治（副会長）、佐藤学、滝本篤透、西巻肇、船木貴幸、望月博、山本誠信、横山一雄（委員13人中9人出席）
- ・事務局：頸城区総合事務所岡村所長、渡邊次長、井部市民生活・福祉グループ長、本山教育・文化グループ長、総務・地域振興グループ渡辺班長、市川主査

8 発言の内容

【渡邊次長】

- ・会議の開催を宣言

【上村会長】

- ・挨拶

【渡邊次長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

- ・会議録の確認：西巻委員、望月委員に依頼

【上村会長】

次第3 協議事項「(1) 頸城区地域活性化の方向性の検証について」に入る。事務局に説明願う。

【渡辺班長】

- ・事務局からの説明

【上村会長】

質問はあるか。

無いようなので、2つの班に分かれて意見交換を行う。

— 2つの班に分かれた意見交換 —

【渡辺班長】

各班それぞれから意見内容の発表をお願いします。

【滝本委員】

「大池・小池を活かした観光」と「くびきのお宝（レールパーク、館）の活用」、「情報発信」について話し合いをした。まず、「大池・小池を活かした観光」では、環境整備に終始追われた。また、現場の人々の高齢化が今後の課題であるという意見だった。今年はホテルの鑑賞ツアーを試行し好評だったので、今後も実施していく方向でファンを集めていきたいという話もあった。いずれにしても現場の人々が手薄であること、木を伐採するには業者に依頼する必要があり費用がかかること、大池のファンを今後どのように取り込んでいくかという3点が課題となっている。

次に「くびきのお宝（レールパーク、館）の活用」だが、レールパークは一定のファンがいて人手の確保はよくできているものの、レールパーク、館ともに今後の集客を考えた場合、現状の催し物などだけではなく特色を活かした付加価値をつけなければならない。また、下支えをする組織が必要だ。やはり人材不足が課題だと見受けられた。

「情報発信」は、例えば小中学生を育成して地域のインフルエンサーになってもらうにはどうしたらよいかを検討することが必要になってくる。情報発信の方法を小中学生に協力してもらいたというところで話が終わった。

【横山委員】

まず、「季節の花が咲く通学路、ポケットパークの整備」は、挿し木等を配布して

いるが、頸城区内の認知度が非常に低い。現場で作業する人々を募集する方法を変えなければならないのではないかと。今、現場で作業している人たちから人手を確保してほしいという意見があり、それを解決する必要があるという意見だった。また、作業日時や作業内容を広く周知すること、ボランティアを養成することが必要であると考ええる。

「外国人の交流とファーマーズマーケット（買い物難民対策等）の企画」は、少しずつ外国人市民に対する地域の考え方が変わってきているようだ。外国人市民との交流で、2次的な交流を誘発してきていると話があったように、SNSでつながるケースも出てきている。交流の方向を再考する必要があるのではないかと。また、「買い物難民」という言葉は、使えないのではないかと。現に外国人市民の方々は、4、5人、中には10人近くで頸城区外まで自転車で買い物に行ったり、徒歩で買い物に行ったりしている。視察研修で先進地の上田市に行った際、多文化共生担当があり進んでいると感じた。交流の仕方としてファーマーズマーケットという方法もあるが、他の方法も考えなければと感じた。

「情報発信」は、情報発信の方法、中身をもう一度精査しなければならないという意見があった。子供たちを参加させるには、親をターゲットにしなければならない。いろいろな発信の方法を取り、時代の変化とともに、どのように行うかが課題であると思う。

【上村会長】

2班に分かれて意見交換をした内容を発表いただいた。

次第3 「(1) 頸城区地域活性化の方向性の検証について」を終了する。

続いて、次第3 協議事項「(2) 地域協議会活動報告会について」事務局、説明願う。

【渡辺班長】

・事務局からの説明

地域協議会活動報告会を提案

○4年間の活動を振り返る

○地域協議会委員の募集説明

○3月上旬に開催し中学生と意見交換を検討

【上村会長】

事務局から説明があったが意見を求める。

【船木委員】

中学生から参加してもらうのは大変よい。3月の上旬という、対象は2年生になるのか。

【渡辺班長】

1年生、2年生を対象に、例えば生徒会役員を想定しているが、中学校と詰めていく。

【船木委員】

地域活動支援事業では実施した団体の報告会があったが、今年度から「地域独自の予算」になったので、地域協議会の報告会になるということか。

【渡辺班長】

地域協議会委員の改選に伴う地域協議会の報告会である活動報告に「地域独自の予算」の報告が必要かどうか、今後検討していきたい。

【船木委員】

仮に「地域独自の予算」の報告をやるとなれば、地域協議会活動報告会とは別に3月にやることになるのか。

【渡辺班長】

「地域独自の予算」の報告はこれから検討していきたい。

【上村会長】

事務局、この件は継続審議でよいか。

【渡辺班長】

承知した。

【上村会長】

続いて、次第4 報告事項「(1) 上越市地区公共交通懇話会について」事務局、説明願う。

【渡辺班長】

・事務局からの説明

【上村会長】

10月に公共交通懇話会があり私と笠原委員と横山委員の3人が出席した。同様の

説明を受け、事務局案のとおり検討していくという説明があった。「資料No.2-1」の「■バス路線の収支と評価結果」の表には市営バス（大池線）に市の補助・負担が35,488千円、経常収益が9千円とあり誤りではないかと質問したところ、表の下の欄に※印で頸城区スクールバスの全体の実績と記載していると説明があったが、これではわからないと伝えた。

【船木委員】

国がライドシェアを推進する動きがある。頸城区は広域のため十分にバスを運行するのは難しいと思う。今後、国が本格的に推進の方向性を打ち出せば、その方向に進むと思うが、市ではどこまで話が進んでいるか。

【渡辺班長】

担当者から情報収集を進めている段階であると聞いている。

【上村会長】

続いて、次第4 報告事項「(2) 視察研修実施報告について」事務局、説明願う。

【渡辺班長】

10月に長野県上田市に視察研修に行った。参加した委員から一言ずつ感想を述べていただきたい。

【上村会長】

参加して大変有意義だった。上田市は外国人市民がどのようなことを要望しているかというデータを多く持っていた。当市はどのようなデータを持っているか把握していない状況で視察に行き反省している。頸城区では「地域独自の予算」で外国人市民の教育を支援していこうとしているが、外国人市民は何を望んでいるか私どもはわかっていない。市の担当者と早急に意見交換をしたいと考えた。

【西巻委員】

非常に大事なことは、外国人市民たちとのコミュニケーションだと感じた。いきなり上田市のシステムを当市で採用することは難しいので、現在の実施事業をもう少し続け方向性を見つけていけばよいのではと思った。子供たちの語学支援などが必要になってくると考えられるし、地元の方も一生懸命やられていることなので、私どもも勉強していかなければならないことは多々あると思う。時間のなかにはあるが、実施している事業を見ながらよい方法が見つけられるような情報収集ができればよいと感じた。

【望月委員】

上田市は先進的に取組んでおりいろいろと学ぶべきものがあった。南川地区は当市の先進地区にならざるを得ないので大変勉強になった。更に具体的な話をしたいと思った。

【山本委員】

頸城区のみが多文化共生について勉強しても、外国人市民がどのような考え方でいるのか見えてこなかったのが事実だ。これから、1つ1つ勉強し、当市で1番多く外国人市民がいる南川地区から広がっていけばよいと感じている。

【横山委員】

ボランティアについて上田市からもっと聞きたかったと感じた。いただいた資料の中にボランティアの資料は見当たらなかった。あれだけ大きな市であるがボランティアが少ないように感じた。大変なことだが当市もやればできるのではと感じた。

【笠原副会長】

上田市は多文化共生の取組を始めて10年だそうだ。その歴史は非常に重みがある。頸城区はここ1、2年で外国人市民が増えてきたので、両市に多文化共生を担当する同じような課があるとのことだが、その辺も含めて、意見交換していけたらと思う。頸城区も外国人市民にアンケートをとり要望を調査し、実態を知るのがよいと思う。非常に中身の濃い視察研修であった。

【渡邊次長】

令和5年2月頃に地元の方からも子供たちに日本語を教えたいとの要望があり、多文化共生課とすでに情報交換を行っている。市内には約2,000人の外国人市民がいて、そのうち頸城区には550人の外国人市民がおり、ほとんどが南川地区に集中しているが、トラブルが無いのは地元が熱心に交流をもっているおかげであると感謝している。地域協議会から要請があれば多文化共生課と勉強会などを実施したいとの話があるので、意見交換の場を今後調整して実施できたらと思っている。

【上村会長】

次にその他に入る。

【岡村所長】

- ・除雪計画について説明

【渡邊次長】

- ・ 頸北地区地域協議会合同研修会スケジュールについて説明

【上村会長】

事務局から今後のスケジュールについて説明があったがそれでよいか。

- ・ 異議なしの声。

それでは次に入る。

【渡邊次長】

- ・ 次回の第9回地域協議会の日程について提案

令和5年12月20日（水）午後6時30分から開催

【上村会長】

開催日時は問題ないか。

- ・ なしの声

他にないか。

- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-530-2311（内線212）

E-mail:kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。